

農林水産商工常任委員会資料

(令和5年1月20日)

項 目	ページ
■ 事業承継支援に関する連携協定の締結について 【企業支援課】……………	2
■ 「とっとり企業紹介フェア」の開催結果について 【雇用政策課】……………	3
■ 「DX時代の人材投資『リスクリング』はじめての一步セミナー」の開催 結果について 【産業人材課】……………	5

商 工 労 働 部

事業承継支援に関する連携協定の締結について

令和5年1月20日
企業支援課

県は、昨年度実施した実態調査の結果、中山間地域の後継者不在率が高いことが判明したことから、今年度は、中山間地域の企業を支援している商工会連合会と連携し事業承継支援のモデル構築の取組や後継者不在事業者の情報をオープンにして起業希望者とマッチングする取組を行っているところです。

このたび、県内事業者の事業承継を促進するため、県、商工会連合会及び日本政策金融公庫の3機関で事業承継支援に係る連携協定を締結しましたので、ご報告します。

1 「事業承継支援に関する連携協定」の締結

(1) 協定者（3機関4者）

鳥取県 : 平井 伸治 鳥取県知事
鳥取県商工会連合会 : 土井 一朗 会長
日本政策金融公庫 : 堂脇 慎 鳥取支店長
竹内 利尚 米子支店長

※県も加えた商工会連合会と日本政策金融公庫による3機関の連携協定締結は全国初。



(2) 協定締結日 令和4年12月23日

(3) 背景及び目的

全国の小規模零細の事業者のマッチング促進に力を入れている日本政策金融公庫とも連携を図ることで、後継者を探すツールを充実させ、マッチング機能を高めていくことが期待されたことから、このたびの3者の連携協定締結に至ったもの。

(4) 協定（連携する業務）の概要

- ・事業承継に関する情報・支援要請の把握及び共有
- ・事業承継に関する相談・支援の対応
- ・その他、事業承継に関する手法・情報等の共有 等

2 県内事業者の後継者不在の状況

(1) 地域における企業の事業継続に関するアンケート結果（令和3年度実施）

- ・後継者不在率 57.0%（市部 56.7%、郡部 57.8%）

(2) 県と商工連との連携事業で商工連会員向けに行った事業承継に関する調査結果（令和4年度）

- ・後継者不在率 63.8%
- ・そのうち、第三者承継を検討する必要がある企業は、216社（21.4%）
- ・そのうち、県、商工連等が連携した支援を希望する企業は、48社

3 現在の取組状況（戦略的事業承継推進モデル構築事業）

(1) 中山間地域の持続に向けた事業承継モデル構築事業

- ・商工連と連携し会員に対する調査を実施。
- ・第三者承継のニーズがあることが判明したため、日本政策金融公庫と連携協定を締結し支援体制を構築。
- ・現在、連携支援を希望する企業に対し個別に聞き取りを行っているところ。

(2) 「起業型」事業承継推進モデル構築事業

- ・民間のオープンネーム型プラットフォーム（Relay（リレイ））に「鳥取県特設ページ」を開設（R4.4.21）。

現在、第三者承継を希望する事業者4社を掲載し、承継に向け具体的な交渉案件あり。

- ・とっとりお試し訪問ツアーの実施（R4.8.27～28）参加者5名
後継者募集事業者を訪問。県内起業家との意見交換。事業承継した事業者の視察
- ・首都圏でのワークショップの開催（R4.10.22）参加者10名

4 今後の取組・目標

支援を希望する企業に対して、個々の企業の課題・ニーズを把握し、県や日本政策金融公庫の支援策も活用しながら、事業承継が円滑に進められるよう伴走支援を行っていく。

「とっとり企業紹介フェア」の開催結果について

令和5年1月20日

雇用人材局雇用政策課

大学等に在籍している学生を対象に、県内企業の会社概要や業務内容等の情報を入手する機会を提供し、企業の人材確保と学生の県内企業に対する理解促進を図るため、下記のとおり「とっとり企業紹介フェア」を開催しました。令和3年度はコロナ禍によりオンラインでの開催でしたが今年度は2年ぶりに対面で開催しました。

記

- 1 日時・場所 令和4年12月26日(月)午後0時40分～4時 鳥取産業体育館
令和4年12月28日(水)午後0時40分～4時 米子コンベンションセンター
- 2 主催 鳥取県、鳥取労働局(ハローワーク)、(公財)ふるさと鳥取県定住機構
- 3 後援 鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校
- 4 参加対象者 大学、短期大学、専修学校、高等専門学校に在学中の方(全学年対象)
- 5 内 容

(1) 就活準備セミナー

3月の採用情報の公開やエントリーの受付開始に合わせ、学生とその保護者がすぐに行動を起こせるよう、(株)マイナビの就活専門講師がコロナ禍における就活の動向や準備すべき対策等を講演した。

(参加者数86名(鳥取会場:学生46名、米子会場:学生39名・保護者1名))

<参加学生の声>

- ・就活の流れを把握できたので、就活生としての自覚を再認識できた。
- ・自分はもう少し企業研究をしないといけないと思った。自己分析だけはいけない。
- ・最後の「出会いを楽しみながら就活をしてください!」の言葉に気持ちが楽になった。よーし!楽しみながら頑張るぞ!!

(2) 合同企業説明会

3月の「就活解禁日」に先駆け、年末に帰省する学生とその保護者が企業研究や業界研究に取り組めるように、県内企業の採用担当者が会社概要や業務内容等を説明した。

※4ブース以上回ると「就活・お役立ちグッズ」をプレゼントするスタンプラリーも実施

※学生の帰省に合わせ、無料送迎バス(大阪便及び県内便)を運行。また、「とっとりwork work(ワクワク)飛行機ツアー(東京便)」を実施。

(参加企業197社(鳥取97社、米子100社)、参加学生157名(鳥取76名、米子81名))

<参加企業・学生の声>

- ・就活解禁前のこの時期に直接顔を見てお話しすることができ、とても有意義でした(企業)
- ・帰省バスやスタンプラリーは魅力的なサービスでした。参加学生を増やす取組をどんどんお願いします(企業)
- ・企業概要だけでなく持っておいた方がよい資格なども詳しく教えて頂いたのでとても分かりやすかった(学生)
- ・就活しなきゃ、と思いつつ、1歩が踏み出せてなかったので、今回のイベントのような気軽で、色んな企業さんの話をきくことができて、少し前向きに就活がすすめられそうです(学生)



(3) 各種相談ブース

行政や支援機関による、職業相談やIJUターン就職相談等を実施した。

<参考>

○R6春大卒の就職活動スケジュール

- ・R5.2まで:自己分析・仕事研究、インターンシップ参加
- ・R5.3～5:(企業エントリー開始後)エントリー、企業説明会参加
- ・R5.6～9:筆記試験・面接、内々定(→R5.10内定式)

○令和5年3月8日・10日、対面式で「とっとり企業ガイダンス」を実施予定(裏面参照)



トータル **200**社
大集合
※鳥取会場、米子会場、各100社

会うからこそ、
想い伝わる。

とっとり企業ガイダンス

とっとり最大級の合同企業説明会！様々な業界から企業が参加します！

2023年 **米子会場** **3/8** 水

場所 米子コンベンションセンター (米子市末広町294)

企業プレゼン
第7会議室
12:45~13:25
(受付12:15~)

合同企業説明会
多目的ホール
13:40~16:15
(受付13:10~)



2023年 **鳥取会場** **3/10** 金

場所 鳥取産業体育館 (鳥取市天神町50-2)

企業プレゼン
小体育館
12:45~13:25
(受付12:15~)

合同企業説明会
大体育館
13:40~16:15
(受付13:10~)

- 参加対象者** 2024年3月大学等卒業予定者、2023年3月大学等卒業予定者
※2025年3月以降大学等卒業予定者も参加OK
- 出展企業** 2023年2月17日(金)以降、ホームページに掲載予定
(公財)ふるさと鳥取県定住機構 <https://furusato.tori-info.co.jp/>
- 申込受付** 出展企業掲載と同時に申込フォームにより受付開始
- 申込締切** 2023年3月5日(日)



とっとり企業ガイダンス 検索

「無料送迎バス」両日走ります!
大阪便・鳥取県内便・片道利用OK!
鳥取県公式アプリ
ととりふるまポイントGET!
イベント参加で300ポイント進呈

新型コロナウイルス感染症対策を実施します。
※鳥取県内における新型コロナウイルス感染症の流行状況により、変更または中止となる場合があります。

とっとり企業まるわかりBOOK
イベント参加者限定プレゼント!

お問い合わせ先 (公財)ふるさと鳥取県定住機構
TEL.0857-30-4505 鳥取市扇町115-1

主催/鳥取労働局(ハローワーク)、鳥取県、公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構
後援/鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校

詳しくは裏面へ▶

「DX時代の人材投資『リスキリング』はじめての一步セミナー」の開催結果について

令和5年1月20日
雇用人材局産業人材課

企業のデジタル人材育成に必要なリスキリングを推進するため、県内企業の経営者等を対象に、リスキリングを始めるためのヒントをお伝えするセミナーを開催しましたので報告します。

1 開催概要

- (1) 日時 令和5年1月15日(日) 14時～15時30分
- (2) 会場 とりぎん文化会館第1会議室(オンライン配信併用)
- (3) 参加者 企業経営者等95名(会場50名、オンライン45名)
- (4) 概要

第1部 トークセッション「現役ビジネスパーソンが語る、社員を成長させ、DXが進む会社」

- ・ライオン株式会社 人材開発センター 稲原 隆二氏(大企業の人事担当者、副業実践者)
- ・日本航空株式会社 地域事業本部 村本 理紗氏(県出身の若手社員、副業実践者)

<概要>

- ・リスキリングとは、社会の大幅な変化に適応するためのスキル習得。社会変革に合わせて経営・人事戦略を見直し、社員と共有したうえで、目的を持って進めることが重要。
- ・戦略を見直すには、経営者層もデジタルの知識をアップデートすることも必要であり、外部人材に助言を得ながら進めることも有効。
- ・中小企業だからこそ、社員と経営戦略を共有しやすく、スピード感を持って実現できる。

第2部 事例紹介「副業プロ人材のサポートによるデジタル人材への一步」

- ・三和段ボール工業株式会社 常務取締役 松本 公彦氏(副業プロ人材活用企業)
- ・株式会社ダウンゴ ニコニコ事業本部兼営業本部 本部長 大野 学氏(同社副業プロ人材)

<概要>

- ・副業プロ人材はホームページをリニューアルする目的で採用したが、経営課題の可視化、デジタル技術活用の提案、ブランディング戦略の見直し等、幅広く助言を得ている。
- ・「DXとは①経営陣・社員が楽になる、②お客様のためになる、③良い企業風土が醸成される」という副業プロ人材の提案に共感し、会社方針として「デジタル化への投資」を掲げた。
- ・紙図面の電子化を社員の提案で進めるなど、社員のデジタル化への意識・機運が高まり、行動に変化もみられつつある。

(5) 参加者の感想等

- ・従来の人材育成との違い、副業プロ人材を通じたリスキリングの手法を理解した。
- ・「人への投資」がますます重要である事に共感し、さらなる自社の取組みに思いを馳せた。
- ・社員に戦略を示し共感を得ながら人材育成を進めていきたい。
- ・ベテラン職員のリスキリングが課題。
- ・人材育成には様々な手法があるため、具体的な事例をもっと知りたい。



(6) 出前図書館の実施

県立図書館と連携して、リスキリングやDXに関する書籍を展示・貸出した。

2 今後の取組

企業の声や国施策も踏まえながら、リスキリング推進を強化し、県内企業のDXの実現及び持続的な成長につなげていく。